2022 年度 事業所向けアンケート　改善・工夫点等

※Q・・・設問項目　A・・・改善目標及び工夫している点等

Q：利用定員が活動等スペースとの関係で適切であるか。

A：ワンルームの事業所のため、子どもたちの状況にあわせ、個別に対応し、戸外活動や室内活動を臨機応変に取り入れ対応している。

Q：事業所の設備等は、子供への配慮が適切にされているか。

A：分かりやすくするため、イラストや文字、写真などを多用するよう心掛けている。個別に適したツール（目標達成表・シール等）を活用している。

Q：職員の資質向上の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。 また、研修のプランが構築されているか。

A：コロナウイルス感染防止の観点よりネット環境（zoom 等）を利用した研修が多かった。対面型研修も増えてきているため状況に応じ、今後の研修プランを考慮していきたい。

Q：学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか。

A：送迎時に利用者の担任などと情報交換を行っている。

Q：児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、 助言や研修を受けているか。

A：定期的にモニタリングで連携を取っている。モニタリング報告書にて、支援者一同で内容について共有を図っている。

※アンケートの共有を図っているかの項目では「あてはまる」の数が多かった

Q：運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。

A：契約時にお伝えしています。

Q：保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と 支援を行っているか。

A：連絡帳や送迎時・電話連絡等で保護者と個別対応を行っている。今年度は、ハートサロン（子育て相談会）を実施しました。

Q：非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。

A：各種避難訓練を実施しました。実施した内容について保護者にお伝えしていきます。